

かずさの博物誌

ニホンアカガエル

～減少が著しい～

文・写真／成田篤彦

2017.3.20



▲水を張った谷津田

=2009年3月21日 木更津市

二月の田植え前の水田、タネツケバナが葉を広げています。前夜の雨で、ところどころに水たまりができていて、アカガエルの卵塊が数個ありました。

卵塊を手のひらにのせると、コロコロとして、寒天質が指の間から漏れることはませんでした。

さて、上総にはニホンアカガエルとヤマアカガエルとタゴガエルの三種のアカガエルがいます。

タゴガエルは丘陵地の崖地などの地下水の中に卵塊を産みます。また、ヤマアカガエルの卵塊は手にのせると指の間から、たれ落ちます。この卵塊はニホンアカガエルのものに間違いありません。

雨が降ると、農家の方は田を耕し、水を張ります。

三月に入ると、農家の方は田を耕し、水を張ります。

そして、オスはメスが来るとしっかりと抱き着き、決して放しません。そして、メスに産卵を促し、卵の腹は鮮やかな赤茶色をしていました。

二月の田植え前の水田、タネツケバナが葉を広げています。前夜の雨で、ところどころに水たまりができていて、アカガエルの卵塊が数個ありました。

卵塊を手のひらにのせると、コロコロとして、寒天質が指の間から漏れることはませんでした。

さて、上総にはニホンアカガエルとヤマアカガエルとタゴガエルの三種のアカガエルがいます。

タゴガエルは丘陵地の崖地などの地下水の中に卵塊を産みます。また、ヤマアカガエルの卵塊は手にのせると指の間から、たれ落ちます。この卵塊はニホンアカガエルのものに間違いありません。

雨が降ると、農家の方は田を耕し、水を張ります。

三月に入ると、農家の方は田を耕し、水を張ります。

そして、オスはメスが来るとしっかりと抱き着き、決して放しません。そして、メスに産卵を促し、卵の腹は鮮やかな赤茶色をしていました。

二月の田植え前の水田、タネツケバナが葉を広げています。前夜の雨で、ところどころに水たまりができていて、アカガエルの卵塊が数個ありました。

卵塊を手のひらにのせると、コロコロとして、寒天質が指の間から漏れることはませんでした。

さて、上総にはニホンアカガエルとヤマアカガエルとタゴガエルの三種のアカガエルがいます。

タゴガエルは丘陵地の崖地などの地下水の中に卵塊を産みます。また、ヤマアカガエルの卵塊は手にのせると指の間から、たれ落ちます。この卵塊はニホンアカガエルのものに間違いありません。

雨が降ると、農家の方は田を耕し、水を張ります。

三月に入ると、農家の方は田を耕し、水を張ります。

二月の田植え前の水田、タネツケバナが葉を広げています。前夜の雨で、ところどころに水たまりができていて、アカガエルの卵塊が数個ありました。

二月の田植え前の水田、タネツケバナが葉を広げています。前夜の雨で、ところどころに水たまりができていて、アカガエルの卵塊が数個ありました。



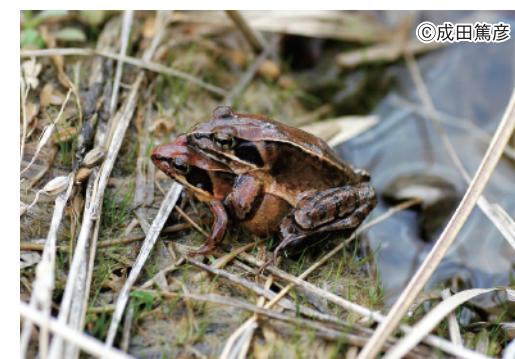
▲ニホンアカガエルの卵塊=2006年4月9日 木更津市



▲ニホンアカガエルのオタマジャクシ=2006年4月9日 木更津市



◆変体したニホンアカガエル
=2006年5月21日 木更津市



▲ニホンアカガエルのオス（上）とメス（下）
=2006年3月24日 木更津市



▲ニホンアカガエル
=2010年10月24日 市原市

memo

ニホンアカガエル
アカガエル科

日本固有種。平地に多い。
参考文献
千葉県11千葉県の保護上重
要な野生生物。